

## 2月定例議会 一般質問・答弁

私は2月の定例議会において、一般質問最終日の2月26日に、決算や予算の面から最も気になった点と、市民の皆さんから相談を受け現場を見てきた中から、これは見直した方がよいと感じた事項について、当局の考え方を伺う質問を行いました。

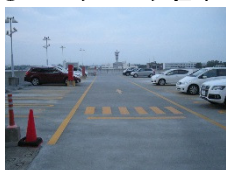
私は、次の経営論理は民間企業も行政機関も共通だという考え方を持っています。

- ① 「この事業の目的は何か、何であるか」と定義し、その目的に照らして成果が合致しないとすれば、それは捨てるなり、改善することが不可欠。
- ② 強い者・賢い者が生き残るのではなく、唯一生き残る者は変化できる者である。

上記の論理と比べあわせて見て、次の2項目については少々異なる方向で運営されていると思ひ質問するとしたものです。



ある日のリバーラ駐車場



屋上の様子



4Fの様子

### 問1 市の資産を活用した中心市街地の新たな取り組みについて

23年前に、中心市街地のにぎわいを取り戻す目的をもってスタートした事業は平成19年に再開発ビルが完成して、この駐車場棟部分を市が9億9千5百万円で購入して終結した。ここから毎年大きな赤字を市は背負うこととなり、元利償還金6千万円強を一般会計から繰入れている現状となっている。

一方駅北口は、来年平成27年には整備事業が完了し、見違えるほどの市の玄関口が誕生する予定である。そこで、その完成に合わせ、リバーラ駐車場の屋上と4Fを活用し、また、そのすぐ北側のユニー跡地を使って、あらためてにぎわい創出の取組みをしたいものと考え見解を伺いました。(右写真は、4Fに架設屋台はどうかと考え、六本木ヒルズに行ってきたものです)



六本木ヒルズ大屋根プラザ



12月大屋根プラザにドイツ風木製屋台が出現し大賑わい。

### 市長答弁

- ① 思いは私も全く同じですけれども、駅前のにぎわい創出は、何よりも地元の商店主や商工団体、そして市民が一緒になって考えることが最も重要であり、リバーラ駐車場の活用についてはさまざまな制約があって、また、さらなる投資のリスクが予想され現実的には難しい。
- ② ユニー跡地については、実施可能な案で何とかしたいという思いがあり、26年度中に庁内挙げて考えようとしている。
- ③ 起債残高一括繰上げ償還については、金利(年間1,400万円強)がもつたいないとする思いは同じなるも、一括返済すると4千万円以上の違約金がかかる等制約があって任意での繰上償還は現時点では考えていない。

### 問2 磐田市市営墓地について

社会環境の変化や市場原理も考慮して、条例改正をして価格や、墓地返還時の不還付条項等変えた方がよいと考える。また、駒場霊園が区画残を抱えているとしても北部や中部地区に新規造成の検討を進めてほしい。

### 市長答弁

- ① 駒場霊園は価格見直しは難しい。緑ヶ丘霊園については他の市営霊園との均衡から時期を見て改定検討する。
- ② 墓地返還時の使用料不還付条項の見直しについては、平成26年度中に方向性の結論を出したい。
- ③ 駒場霊園の整備は平成25年から2年間休止し、この間に市営霊園のあり方を考えていく。

理想的な墓地を  
見えました



横浜「港の見える丘公園」横の外人墓地



掛川市 富士見台霊園